

かけはし



2015年

Vol.74



- 新任医師紹介
- 地域救命救急センター開設
- 出前講座始めます
- 看護のチカラ 慢性心不全看護認定看護師
- 食レポ・リレーコラム

CONTENTS

新採用医師の紹介



病院長
杉田 孝
すぎた たかし

「良質で安全な医療提供」を目指して

2015年4月1日、病院長を拝命いたしました。よろしくお願いいたします。

JA尾道総合病院は昭和32年に開院し、医療法に定められる公的病院として、がん医療、救急医療、小児・産科医療など、地域になくはない分野を重点的に担ってまいりました。加えて、弓削孟文前病院長のご尽力により、私の赴任と同時に地域救命救急センターが開設され、広島市と福山市の間に空白であった三次救急医療を担うこととなりました。本センター開設前の3月22日に中国やまなみ街道が全線開通し、病院の立地場所は山陽自動車道、しまなみ海道、国道2号線三原バイパスが交差する交通の要衝となりました。当病院はこれら日々刻々と変化する医療環境あるいは医療制度に合わせ、発展的な変化を遂げて行く所存です。

もちろん、「良質で安全な医療を提供する」という病院の基本的な方針は変わりません。これまで以上に医師会の先生方、また自治体との十分な連携・協力を行いながら地域住民の方々に健康と安心を提供していきます。地域の医療を守ることは当然のことながら、病院のさらなる医療安全に取り組み、加えて病院スタッフが生きがいを持って医療に従事できるように、病院を運営することも重要な責務と思っています。

今後も病院スタッフと一丸となり病院の一層の充実・発展に努め、地域医療を守ることに尽力していく所存でございます。尾道総合病院に対し、従来と変わらぬご支援とご鞭撻をお願いいたします。

耳鼻咽喉科

石井 秀将
いしい ひでまさ



コメント

土堂小学校卒業生の石井です。故郷の尾道にやっと帰ってきました。地域の皆様のお役に立てる様に精一杯頑張ります。宜しくお願いします。

麻酔科

権 理奈
ごん りな



コメント

麻酔を受けられる方の不安を除き、術後の痛みを残さないよう心掛けています。安心して手術が受けられるよう頑張っております。

麻酔科

木村 明生
きむら あきなり



コメント

4月より麻酔科に赴任しました木村明生と申します。皆様のお役に立てるよう頑張っておりますので、何卒よろしくお願い致します。

救急総合診療部

宇根 一暢
うね かずのぶ



コメント

尾道に久しぶりに帰ってきました。救急医療と地域医療に貢献できるよう頑張ります。よろしくお願いいたします。

循環器内科

松本 武史
まつもと たけし



コメント

この度、循環器科に赴任しました松本武史と申します。7年ぶりに尾道に帰って参りましたが新病院は初めてであり慣れない点もあると思いますがよろしくお願い致します。

産婦人科

山下 通教
やました みちのり



コメント

初めまして。産婦人科の山下です。見た目はオジサンですが、若手です。良いお産が出来るように頑張りますので皆様宜しくお願い致します。

皮膚科

森田 知世
もりた ちよ



コメント

故郷がある尾道で働く事となり、とても嬉しく思っています。皆様のお役に立てるよう一生懸命頑張りますので、よろしくお願い致します。

消化器内科

宍戸 孝好
ししど たかよし



コメント

内視鏡診療を中心に行っている消化器内科医です。苦痛のない内視鏡検査、安全な内視鏡検査を心掛けています。胃や腸の症状でお困りの方は、お気軽にご相談ください。

消化器内科

南 智之
みなみ ともゆき



コメント

この度、内科に赴任しました南智之と申します。消化器内科、特に胆道・膵臓を専門としております。よろしくお願い致します。

よろしくお願ひします

呼吸器内科

吉田 敬

よしだ たかし



コメント

この度、公立みつき総合病院から赴任しました吉田敬と申します。急性期病院の仕事に出来るだけ早く慣れ、お役に立てるよう努力致します。宜しくお願い申し上げます。

外科

藤國 宣明

ふじくに のぶあき



コメント

レジデントの時にお世話になった尾道へ6年ぶりに帰ってきました。前任の大学病院では主に胃の腹腔鏡手術のトレーニングを受けました。頑張りますのでよろしくお願ひします。

外科

武智 瞳

たけち ひとみ



コメント

広島大学を卒業後に地元の愛媛で研修を終え、外科を専攻することに決めて広島県に戻ってきました。日々精進できるように頑張りますので、よろしくお願ひします。

外科

安部 智之

あべ ともゆき



コメント

肝胆膵外科を専門としています。まだまだ実力と気持ちが伴っていませんが、精一杯知恵をふりしぼって診療していきますので、何卒よろしくお願ひします。

眼科

宮城 秀考

みやぎ ひでたか



コメント

専門は網膜、硝子体疾患ですが、緑内障を含め、眼科領域全般の診療に精一杯取り組む所存です。よろしくお願ひします！

脳神経外科

磯部 尚幸

いそべ なおゆき



コメント

出身は静岡県磐田市です。中学/野球、高校/硬式テニス、大学/バレーに青春しました。今年で50才になりますが、フットワーク軽く頑張りたいと思います。

脳神経外科

西本 武史

にしもと たけし



コメント

4月からJA尾道総合病院 脳神経外科で勤務する西本武史です。平成10年広島大学卒業、脳神経外科一般に携わっております。よろしくお願ひいたします。

小児科

藤原 信

ふじわら しん



コメント

これまで、新生児を中心に診療をして参りました。その経験を活かしながら、みなさまと力を合わせて地域の子ども達が最善の治療が受けれるよう努力したいと思ひます。

整形外科

松浦 正己

まつうら まさき



コメント

まだまだ未熟者ですが、情熱を持って診療に取り組もうと思ひます。よろしくお願ひします！

泌尿器科

梶原 充

かじわら みつる



コメント

6年ぶりに尾道に帰ってきました。カーブ黒田選手のような活躍は困難かもしれませんが、「尾道愛」をモットーに、泌尿器科診療に善処したいと考えています。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

歯科

伊藤 翼

いとう よく



コメント

この度、歯科口腔外科に赴任しました伊藤翼と申します。不思議な縁のある尾道の地で、微力ながら地域医療に貢献できればと思ひています。よろしくお願ひ申し上げます。



研修医

松本 渉

まつもと あゆむ



コメント

広島大学出身の松本です。中高大と卓球部で、ゴルフも多少経験があります。まだ右も左も分からず、ご迷惑をおかけすると思ひますが、よろしくお願ひします。

研修医

川野可奈子

かわの かなこ



コメント

広島大学出身の川野可奈子です。尾総はとても活発な病院なので、2年間明るく充実した研修を送れるよう一生懸命学んでいきたいと思ひています。よろしくお願ひします！

研修医

船石 邦彦

ふないし くにひこ



コメント

広島大学出身の船石邦彦と言ひます。部活はゴルフ部に所属しておりました。尾道の医療の為に精一杯頑張りますので宜しくお願いするなっし〜。

地域救命救急センター開設

平成27年4月1日当院の地域救命救急センターはスタートしました。

当地域では著しい高齢化等の影響で、年々救急医療ニーズの高まっていることもあり、当院は以前から救急医療に力をいれていました。そして2011年新築移転を機に、手術も可能な処置室を整備し、また内視鏡センターや心臓血管センター、MRIやCTなどの撮影機器を救急外来中心とし配置するなど、救命救急センター構想を明確に掲げて医療にあたっていました。

そこから4年の月日を経て、この度、広島県保健医療計画に三次救急医療機関として組み込んでいただき、名実ともに地域救命救急センターとして新たな一歩を踏み出しました。

当院がある尾三地域から西方に向けて一広島市・呉市に行くまで一 3次救急医療機関がなく広島県における空白地帯でした。その解消と合わせて、山陽自動車道・しまなみ海道・中国やまなみ街道が交わる要衝として、医療圏の拡大が予想されており、当地域で3次救急を担うことの重要性は高いと感じています。

センター開設を機に、これまで圏域外にてご対応いただいていた患者さんを少しでも地元で守ることを目標に掲げ自病院の機能を強化していくとともに、一層の医療連携を図り、機能分化を進め、地域をあげて一人ひとりの大切な命を守っていきたいと考えています。

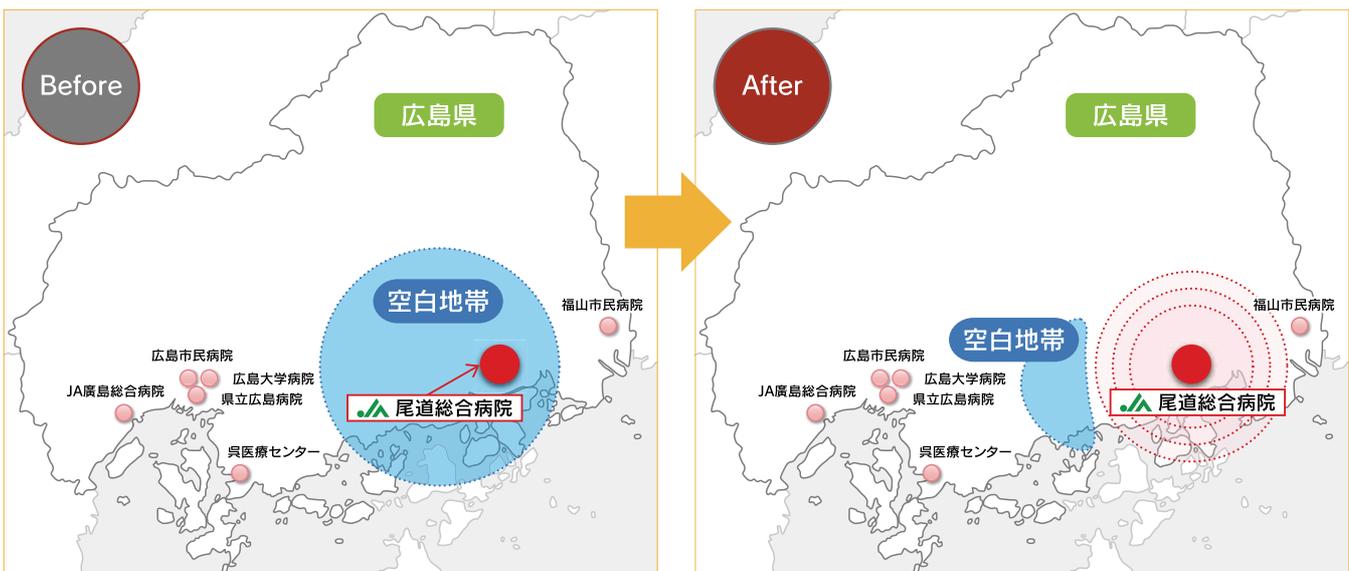
【設置主旨】

- ・これまで当地域で治療することが出来なかったような三次救急患者を地元で守ることができるよう体制を強化します。
- ・交通アクセスの充実などにより拡大する診療圏への対応と、広島県における三次救急医療の空白地帯の解消に努めます。

地域完結型医療を目指して…



■三次救急の空白地帯解消イメージ



尾道市の人口は、概況で約15万人弱といわれており、高齢化率は全国的にも高値を示しております。また、尾三の二次医療圏（尾道市、三原市、世羅町）となると背景人口は約30万人弱ともいわれております。

しかし、この地域においては、救命救急センターがないことが弱点として挙げられます。

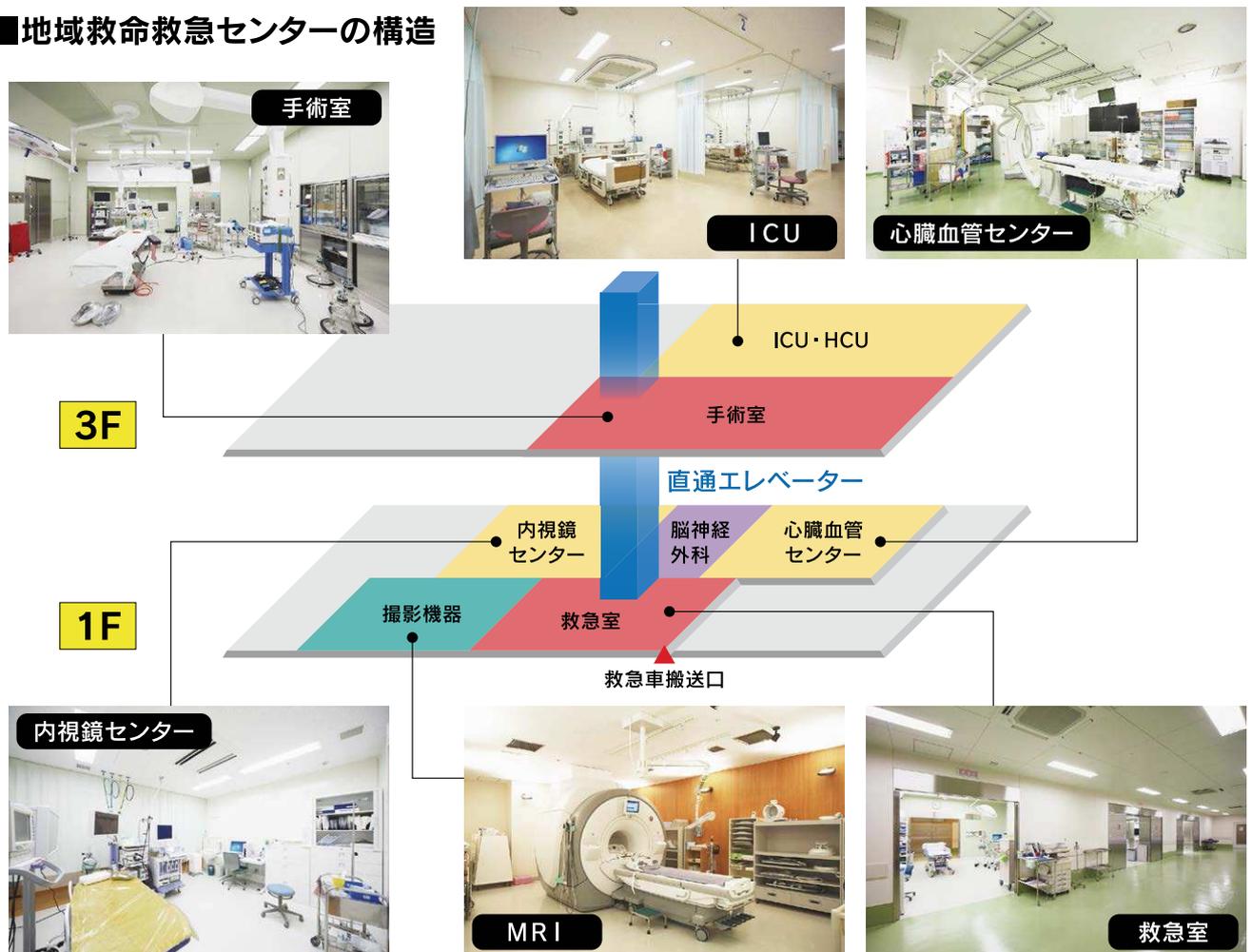
現在、広島県において、救命救急センターは西部に5ヶ所、東部は福山市市民病院の1ヶ所のみであり、福山～広島間は空白地帯となっております。

■当地域における救急医療の役割分担

区 分		従 来	今 後
● 一次救急	入院や手術を伴わない患者に対する医療	夜間救急診療所 地域の医療機関	同 左
● 二次救急	入院や手術を要する患者に対する医療	救急告示病院 病院群輪番制病院 など	同 左
● 三次救急	二次救急では対応できない生命に関する 重傷な患者に対する医療	な し	救命救急センター 新 設

当地域での三次救急医療を担っていきます。

■地域救命救急センターの構造



救急室を中心に救急患者さんを迅速に、効率的に治療できるような構造にしています

【皆様へのお願い】

- ・ 普段から『かかりつけ医』をお持ちいただき、お早めの受診をお願いします。
- ・ 病院や診療所が開いている昼間の時間帯での受診をできる限りお願いします。
- ・ 尾道市夜間救急診療所等の積極的なご利用をお願いします。



内 容

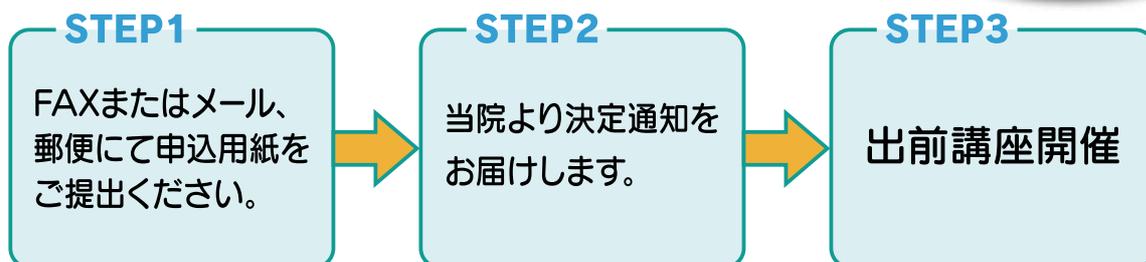
- 対 象 尾道市・三原市・世羅郡の団体またはグループ。
- 講座形式 病院スタッフを派遣いたします。
- 開催日程 原則平日1時間程度 (9:00~16:00)
- 費 用 無 料
※ただし会場費の手配等はそちらでお願いいたします。

サークルの一環で

イベントの一部で

会社の研修会に

申込方法 (担当) 医療福祉支援センター



☎0848-22-8111(代) F A X:0848-22-5102 (直) E-mail:ono.renkei@hirokouren.or.jp

テーマ例

- 生活習慣病のお話し (メタボ・糖尿病など)
- 女性のがん1位! 乳がんの発見から治療まで
- 禁煙のすすめ
- 心臓に優しい生活 (心臓病全般)
- お子さんの調子が悪いとき、誰でもできる対処法
- 尿でお困りの方へ
- 静かに進行する『糖尿病』。体の中ではこんなことが…

この他専門スタッフによるいろいろなテーマを取りそろえています。
詳細は病院ホームページをご覧ください。

※この出前講座は一般の方を対象としていますので、医療・介護関連施設や団体様からのご要望がある際は別途ご依頼ください

連載企画

看護のチカラ

慢性心不全看護認定看護師



富山 美由紀
Miyuki Tomiyama

自分の心臓とうまくつきあっていきましょう

心臓の病気は、今やがんに続き日本人に多い疾患です。代表的な病気である狭心症や心筋梗塞などは『生活習慣』が大きな原因となりますが、現代の日本人の生活習慣には心臓疾患の症状を引き起こすリスクが沢山潜んでいます。

ところで、私が専門としてる心不全とは、実は病名ではありません。「**心臓の働きが弱ってしまいおきている状態**」をいいます。高血圧、狭心症、心筋梗塞、心筋症、心臓弁膜症などが原因となって心臓のポンプとしての機能が低下した病態が心不全です。原因となった病気のコントロールはもちろん、心臓が弱ってしまわないように日々患者さんのことを色々な面から支援するよう努めています。

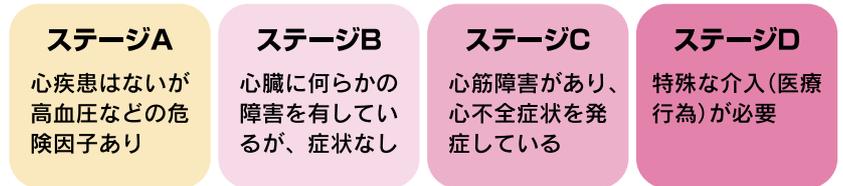
今回は心不全について少し詳しく解説させていただきます。

■日本人の主な死亡原因

- 1位 がん
- 2位 心不全
- 3位 脳神経疾患
- 4位 肺炎

実はとても多いです

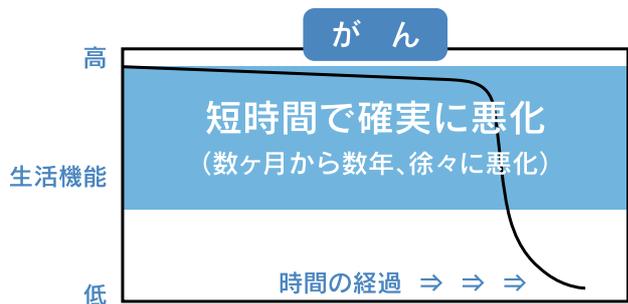
■心不全にも病期(ステージ)があります



【初期】 ←————→ 【末期】

(ACC/AHA心不全ガイドラインより)

■時間の経過と生活機能…がんと比較



私たちは心不全患者さんの急性増悪(急変)や生活機能の低下を抑えるために日々と診療のみならず色々な取り組みを行っています。ご説明した通り、心不全はがんと変わらない重い病です。その分、心不全を甘く考えず、定期的な受診を行い、医師の処方したお薬をきちんと飲むことはもちろん、食事や運動にも気を付けることが大切です。右のリスクチェックで日々の生活習慣を考えてみてはいかがでしょうか？

心不全リスクチェック

- 魚よりも肉が好き。
- お菓子が好き。
- 塩分が強めの味つけが好き。
- 食べることが好きで多く食べがち。
- アルコールを飲む機会が多い。
- 喫煙習慣がある。
- 運動は1週間に1回もやっていない。



Eating Reports 健康につながる食情報

春キャベツの重ね煮

3月頃から旬をむかえる甘くておいしい春キャベツ。冬のキャベツに比べ葉がやわらかいため、煮込み時間に注意しましょう。（栄養科 金子 美樹）



エネルギー（1人分）245kcal

■ 材料(2人分)

- ・春キャベツ … 150g（3～4枚程度）
- ・トマト …… 100g（中1個）
- ・チーズ …… 20g（1枚）
- ☆鶏ひき肉 …… 120g
- ☆玉ねぎ …… 60g（1/4個）
- ☆溶き卵 …… 25g（1/2個）
- ☆酒 …… 大さじ1/2
- ☆片栗粉 …… 大さじ1
- ☆塩・胡椒 …… 少々
- ★だし汁 …… 350cc（カップ1・1/2）
- ★酒 …… 大さじ1
- ★みりん …… 大さじ1
- ★醤油 …… 大さじ1/2強

■ 作り方

- ①キャベツをバラバラにならないように1枚ずつめくり水洗いし、水気を切っておく。
トマトは薄くスライス状に切る。
- ②玉ねぎはみじん切りにして炒め、その他の☆の材料と混ぜ合わせてこねる。
- ③キャベツに②を薄く広げる。さらにキャベツを重ねスライスしたトマトとチーズを重ねる。
もう1枚キャベツを重ねて②を薄く広げる。
- ④形がくずれないように丸めて竹ぐしなどで固定する。
- ⑤★の材料と一緒に鍋に入れ形がくずれない程度に煮込む。
- ⑥食べやすい大きさに切り、器に盛ったら出来上がり。



副院長 泌尿器科
森山 浩之



広報企画会議において、リレーコラムを始めることが決まりました。これは記事を書いた人が、つぎに原稿を依頼する方を指名してつなげていくというテレフォンショッキング形式といわれるものようです。委員長の森山からスタートすることになりました。

私は、平成14年4月から泌尿器科の主任部長をしており、あっという間に13年が経過してしまいました。泌尿器科は平成23年3月までは3人で診療を行っていましたが、平成23年4月からは大学の意向により2人体制になってしまい、現在に至っています。

当科では検査や処置を要する患者さんが多く、外来診療の合間にそれらをこなさなければなりません。特に尿路結石破碎の体外衝撃波治療は、現在は火曜日の午後大学からの派遣医師にお願いしていますが、予定が組めずかなりお待ちいただく状況になっています。3人の体制の際には、診断後ただちに治療を行うこともできていたのですが、また手術の際にも、もう1人いてくれればよりスムーズに手術が行えるのにと感じることも多々あります。

極めつけは、手術中に泌尿器科の救急患者さんが来られても、2人でやっている現在では対応できません。3人の時代であれば、1人が手をおろして対応できていたのですが、また、定年を気にするようになった私も、土日の泌尿器科当番も半分を担当しています。このような状況ではありますが、昨年には腹腔鏡下前立腺全摘除術の施設認定を受けることができました。2人体制の現在でも、当院における泌尿器科診療をできるだけ遅滞させることなく着実に前に進めていこうと考えながら日々の診療を行っています。

病院のためにも、早く元の3人体制に戻ることを願っています。泣き言ばかりを書いてしまいましたが、次からは楽しい話題も書いていただけるものと期待しています。